

榎忠展

美術館を野生化する

ENOKI CHU “Unleashing the Museum”



RPM-1200 (2006-09年) 撮影：金子治夫

1 趣旨

榎忠（1944年香川県生まれ）は、神戸を拠点に活躍する現代美術家です。1960年代半ばから創作の世界に入った榎は、70～76年の集団での活動を経た後、街中での会場探しからはじめ、自ら展覧会全体を作り上げることを行ってきました。型破りなパフォーマンスをしたり、銃や大砲など現代社会における刺激的な題材を扱ったり、今日多量に生み出される金属の廃材に新しい生命を吹き込んだりと、独自の世界を展開しました。90年代には関西以外の地でも紹介されて広く注目されるようになり、近年は、大阪キリンプラザでの個展（2006年）や豊田市美術館での二人展（2007年）などによってその評価を不動のものとなりました。

本展は、回顧展も兼ねた、榎の最大規模の個展です。旧作や、旧作を新しい素材と現在の視点から再構成した作品を出品するとともに、今回榎が発見した廃材によるインスタレーションも展示し、榎の全体像を示すことを意図しています。

なお、本展は、神戸ビエンナーレ2011連携事業です。

2 会期

2011年10月12日(水)～11月27日(日) 47日間

会期中無休

開館時間：午前10時～午後6時(金・土曜日は午後8時まで)入場は閉館の30分前まで

3 会場

兵庫県立美術館 3階 企画展示室 他

4 主催

兵庫県立美術館・朝日新聞社

5 後援

兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市・神戸市教育委員会

6 助成

芸術文化振興基金

7 協力

兼正興業株式会社・神戸波止場町TEN×TEN・産業振興株式会社 大阪スクラップセンター・株式会社シマブンコーポレーション・HAZ・株式会社三好製作所

8 観覧料

一般 1,200(1,000)円/大学生 900(700)円/高校生・65歳以上 600(500)円/中学生以下 無料

()内は前売および20名以上の団体割引料金

高校生・65歳以上は前売販売しません。

障害のある方とその介護の方1名は各当日料金の半額(65歳以上を除く)

割引を受けられる方は、証明できるものをお持ちのうえ、会期中美術館窓口で入場券をお買い求めください。

コレクション展の観覧には別途観覧料が必要です。(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)

前売券は10月11日まで販売します。会期中は前売券を販売しません。

前売券販売場所:チケットぴあ(Pコード:764-824)、ローソンチケット(Lコード:56200)

ほか京阪神の主要プレイガイド

神戸ビエンナーレ 2011 のチケット半券を提示いただくと、団体割引料金でご覧いただけます。

9 関連事業

1%er,オトキチの世界

(榎忠が推奨するカスタム・オートバイの特別展示)

10月21日[金] - 23日[日]

3階企画展示室回廊

学芸員によるギャラリー・トーク

10月22日[土]・11月12日[土]

いずれも午後4時から約45分

会場入口に集合 要観覧券

こどものイベント「チュウさんと大砲を作ろう」

10月29日[土]午前10時30分から午後3時30分

小学4年生以上(保護者同伴)・中学生30名

アトリエ2 要事前申込・有料

詳しくはこどものイベント係(078-262-0908)まで

佐渡裕(指揮者)・榎忠・蓑豊(当館館長)トークショー「美術と音楽」

11月18日[金] 午後6時から

展示会場(定員200名) 要観覧券

ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 午前11時から約15分

レクチャールーム(定員100名) 聴講無料

お問合せ先 兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】 担当学芸員 出原 均

TEL: 078-262-0909(直) FAX: 078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】 営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905(直) FAX: 078-262-0903

10 主な出品作品（予定）



葉莢（1991-2年） 参考図版
本物の葉莢を積み重ねた作品



ギロチンシャー1250（1994-5年） 参考図版
裁断機で裁断した鉄素材の作品



NAGATA-Pb（1996年）
阪神大震災で破棄された鉛管を溶かした作品



AK-47、AR-15（2000年）
砂型で鑄造した銃の作品



FALCON-C2H2（2007年）撮影：太田拓実
大砲型の作品



LIBERTY-C2H2（2009年）撮影：金子治夫
大砲型の作品

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

榎忠展

美術館を野生化する

ENOKI CHU “Unleashing the Museum”

営業・広報グループ 宛
F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	RPM-1200 (2006-09 年) 撮影: 金子治夫
2	葉莢 (1991-2 年) 参考図版
3	ギロチンシャー1250 (1994-5 年) 参考図版
4	NAGATA-Pb (1996 年)
5	AK-47、AR-15 (2000 年)
6	FALCON-C2H2 (2007 年) 撮影: 太田拓実
7	LIBERTY-C2H2 (2009 年) 撮影: 金子治夫
上記図版を媒体掲載される際には、上記作品名、制作年等を必ず記載してください。	

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです)		組	名分希望

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。
 本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体 (VTR/DVD) などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。
 本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。